

# 幕別町アイスホッケー協会

## 1) 沿革

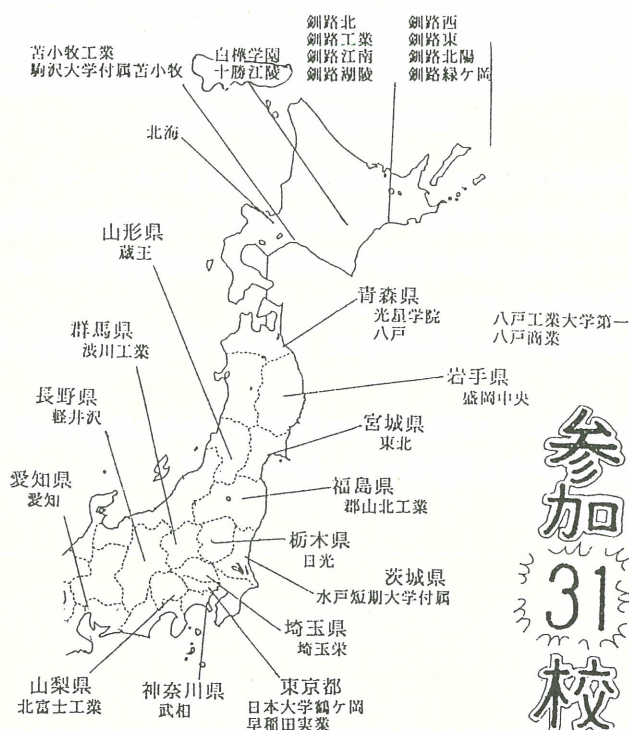
私達幕別町アイスホッケー協会はまだ2年目の若い協会であり、設立した年には、第10回幕別アイスホッケー大会を(1月5日)開催予定をしていましたが年々地球温暖化での影響でアウト、リンクでの状況悪化の為中止に至っています。

本年度も昨年同様幕別大会の協力と審判団の派遣を予定しております。

アイスホッケー協会のメイン活動として、町内の低学年対象にホッケー教室の開催を予定しており、年々減少するホッケー人口に対し歯止めと普及、促進を目的に只今活動の現状であります。

## 2) 幕別町内に於けるアイスホッケーチームの現況の活動

幕別町内には十勝管内でも、珍しく一町での高校アイスホッケー部が2校、江陵高校、幕別高校、幕別中学校、幕別少年団、止若ジェッツの計5団体のアイスホッケー部が活動していますが数十年の歴史を持つアイスホッケー部も有り、江陵高校も毎年素晴らしい成績を納め、今年1月には釧路で開催された第46回全国高校アイスホッケー大会に出場、輝かしい成績を上げマスコミ等にも報道されました。また同校卒業生は各大学、実業団、古河電工、西武鉄道等数多くの選手を送りだし若宮監督を中心に強豪チームとして活動しております！



また幕別高校も数年前にアイスホッケーを設立、現在は各大会に出場しながら徐々に力を付け将来的にも楽しみなチームに成長し柳沢監督の指導のもと、年々好成績を納めてきております！

中学校に於いては町内唯一のアイスホッケー部で幕別中学校アイスホッケー部も歴史も有り過去に於いては全道大会出場の実績を持つ部であり、ここ数年力を付け平成9年2月、3月に行われた全十勝新人戦では強豪大空中との対戦では惜しくも準優勝、日ア連大会でも大空中に敗れ準優勝になり今年度は全道大会出場を目指し只今猛特訓中です。

また、今年着任した代田コーチを迎え、喜多監督を中心にチームプレーに励んでいます。



幕別中対西陵中より新人戦

少年団では幕別小学校のアイスホッケー部が11年目を迎えたチームです。

7年度に於いては初の全道大会出場、十勝大会では数多くの優勝経験と好成績を残し、全日本ジュニアアイスホッケー大会には数名の選手が選抜され、現在藤川監督、大上コーチ、富田コーチの三人体制で少年団の指導にあたっています。

少年団発足当時の太田監督、2代目山崎監督、田中コーチの方々の指導と歴史等の有る少年団です！

社会人チームでは止若ジェッツが現在第4部で活躍中、町内に勤務する社会人を主として活躍中でとても若いチームで、今後も期待されているチームです！

以上5団体の近況報告です！

### 3) 幕別町アイスホッケー協会の展望について

町内に於ける小、中学校単位でのアイスホッケー部の発足を願うところであります。

そうなる事により、各チームレベルアップ、底辺の拡大等大きな課題が数多くあり、また年々他のスポーツでも見受けられるように、スポーツを楽しむ子供が減少し子供を取巻く環境、またスポーツ施設の不足等も有り私達アイスホッケーを楽しむ団体も苦慮していますが当面は、アイスホッケーの魅力为数多くの子供らに浸透させる事に総力を上げ活動して行く所存であります。

また平成14年には、十勝圏国体（冬期）が13年には、インターハイ（全国高校スピード、アイスホッケー大会）が予定されており、今の現状では帯広の森アイスアリーナ、第2アリーナ、御影アイスアリーナの3会場、帯広市、清水町が誘致を進めていますが国民大会では、カーリング、スケートショートトラックが正式種目に加わる予定で3会場ではとても厳しい状況です。



平成8年度 幕別アイスホッケー少年団

浦幌アイスアリーナも現在稼働中ですが、選手の移動等を考慮すると、非常に厳しいとの判断に至っています。

また帯広市と帯広アイスホッケー連盟でも一市集中を避け経済効果、社会体育施設の普及と広域開催を心より願っているものです。

これを記に我が幕別町も施設の充実をと願うところでです。

冬期スポーツ施設の確保を切望するものであり、また幕別町体育連盟の益々の御発展を心より願うものであり、また当体育連盟に所属する各協会、子供から是非オリンピック選手の誕生を模索しながら各協会の御活動と御発展を心より願っています！